

平成22年3月期 第1四半期決算短信

平成21年7月30日

上場会社名 三井製糖株式会社

上場取引所 東大

コード番号 2109 URL <http://www.mitsui-sugar.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 井原芳隆

問合せ先責任者 (役職名) 業務本部経営企画部長 (氏名) 佐藤公昭

TEL 03-3663-3111

四半期報告書提出予定日 平成21年8月11日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第1四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第1四半期	19,800	△1.1	1,951	0.1	2,128	△7.6	1,269	△10.4
21年3月期第1四半期	20,021	—	1,950	—	2,303	—	1,417	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第1四半期	9.23	—
21年3月期第1四半期	10.31	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第1四半期	68,220	48,040	69.3	343.56
21年3月期	68,592	47,429	68.0	339.37

(参考) 自己資本 22年3月期第1四半期 47,245百万円 21年3月期 46,671百万円

2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	3.00	—	4.00	7.00
22年3月期	—	—	—	—	—
22年3月期(予想)	—	3.00	—	4.00	7.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	39,000	0.0	3,060	△6.7	3,170	△7.6	1,870	△10.7	13.60
通期	76,800	△0.4	5,860	△8.6	6,070	△6.9	3,580	△9.4	26.03

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無
新規 一社 (社名) 除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第1四半期	141,667,400株	21年3月期	141,667,400株
② 期末自己株式数	22年3月期第1四半期	4,148,921株	21年3月期	4,145,475株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第1四半期	137,520,805株	21年3月期第1四半期	137,543,452株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、4ページ【定性的情報・財務諸表等】3. 連結業績予想に関する定性的情報をご覧ください。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間におけるわが国経済は、政府による景気刺激策や輸出の一部回復により底入れの兆候が見え始めたものの、企業収益は今なお低迷が続いており、個人消費も雇用状況の悪化や生活防衛意識の高まりにより冷え込んだままとなっております。

このような環境の中、当社グループとして、製品の安定供給と食の安全・安心の確保、環境配慮への取組みとコストセーブに努めてまいりました結果、下記の通りの業績となりました。

売上高	19,800百万円 (前年同期比 1.1%減)
営業利益	1,951百万円 (前年同期比 0.1%増)
経常利益	2,128百万円 (前年同期比 7.6%減)
四半期純利益	1,269百万円 (前年同期比10.4%減)

事業の種類別セグメントの概況は以下の通りであります。

(砂糖事業)

砂糖事業におきましては、景気低迷に加え節約志向による消費の落ち込みが見られる中、前期下期よりスタートした「スプーン印」50周年販促キャンペーンを継続展開し、適正価格帯での販売に努めた結果、前年並みの売上げとなりました。コスト削減と省エネ、原料の有利調達にも注力しましたが、インドの大幅減産を背景とした海外粗糖相場の高騰により原料コストが上昇しました。

以上の結果、砂糖事業の売上高は17,704百万円(前年同期比0.0%増)、営業利益は2,112百万円(同2.0%減)となりました。

期中の砂糖市況

国内市中相場(日本経済新聞掲載、東京上白大袋1kg当たり)

期を通じて163~164円で推移

海外粗糖相場(ニューヨーク砂糖現物、1ポンド当たり)

始値13.68セント 安値13.34セント 高値18.67セント 終値18.35セント

(食品素材事業)

食品素材事業におきましては、「パラチニット」や寒天・ゲル化剤の販売が低調になるなど、子会社を含め総じて景気の悪化の影響を受け苦戦しました。

以上の結果、食品素材事業の売上高は1,708百万円、営業利益は104百万円となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、賃料相場の下落等、厳しい環境となる中、引き続き社有不動産の効率的活用に努めました。

以上の結果、不動産事業の売上高は387百万円、営業利益は250百万円となりました。

営業外損益においてはデリバティブ評価益が減少し、また持分法投資利益も前年同期を下回ったことから、経常利益は2,128百万円となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

〔連結財政状態の変動状況〕

当第1四半期連結会計期間末の総資産は前連結会計年度末比372百万円減少し、68,220百万円となりました。連結貸借対照表の主要項目ごとの主な増減要因等は次の通りであります。

①流動資産

流動資産は、前連結会計年度末比199百万円減少し18,482百万円となりました。これは主として、現金及び預金の増加371百万円、受取手形及び売掛金の増加241百万円等があった一方で、原材料及び貯蔵品等のたな卸資産の減少789百万円等があったことによるものであります。

②固定資産

固定資産は、前連結会計年度末比172百万円減少し49,737百万円となりました。これは主として、取得による増加があった一方で、減価償却による有形固定資産の減少等があったことによるものであります。

③負債

負債は、前連結会計年度末比982百万円減少し20,180百万円となりました。これは主として、支払手形及び買掛金の増加1,720百万円等があった一方で、借入金の減少1,569百万円、未払費用や未払法人税等の減少1,100百万円等があったことによるものであります。

④純資産

純資産は、前連結会計年度末比610百万円増加し48,040百万円となりました。これは主として、四半期純利益1,269百万円、剰余金の配当550百万円、評価・換算差額等の減少143百万円等によるものであります。なお、自己資本比率は69.3%と1.2ポイント改善しております。

〔連結キャッシュ・フローの状況〕

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)の残高は3,498百万円となり、前連結会計年度末と比較して371百万円の増加となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動による資金の増加は3,162百万円となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益2,128百万円、減価償却費554百万円及び仕入債務の増加額1,702百万円等により資金が増加した一方で、売上債権の増加額241百万円及び法人税等の支払額1,191百万円等により資金が減少したことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動による資金の減少は664百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出662百万円等によるものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動による資金の減少は2,126百万円となりました。これは主として、借入金の純減少1,569百万円、配当金の支払額551百万円によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期連結会計期間の業績は、ほぼ計画通りに推移しましたが、依然として今後の景気、需要動向は不透明であり、また海外粗糖相場も高騰しておりますが、引き続き適正価格販売とコスト削減に注力し、期首事業計画の達成に向け取り組んでまいります。従いまして、5月14日に公表した業績予想について変更はありません。なお今後の情報収集、分析により見直しが必要と判断した場合には、速やかに開示いたします。

	平成22年3月期通期見通し	前期比
売上高	76,800百万円	319百万円減(0.4%減)
営業利益	5,860百万円	553百万円減(8.6%減)
経常利益	6,070百万円	451百万円減(6.9%減)
当期純利益	3,580百万円	372百万円減(9.4%減)

(参考)個別業績予想

	平成22年3月期通期見通し	前期比
売上高	71,600百万円	444百万円減(0.6%減)
営業利益	5,540百万円	430百万円減(7.2%減)
経常利益	5,600百万円	347百万円減(5.8%減)
当期純利益	3,320百万円	257百万円減(7.2%減)

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）
該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更
該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,506	3,135
受取手形及び売掛金	4,668	4,427
商品及び製品	4,028	4,130
仕掛品	1,160	1,263
原材料及び貯蔵品	4,093	4,678
繰延税金資産	517	530
その他	519	529
貸倒引当金	△13	△13
流動資産合計	18,482	18,681
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	23,786	23,771
減価償却累計額	△15,306	△15,162
建物及び構築物(純額)	8,479	8,609
機械装置及び運搬具	39,088	38,947
減価償却累計額	△31,336	△31,012
機械装置及び運搬具(純額)	7,752	7,935
工具、器具及び備品	1,598	1,583
減価償却累計額	△1,340	△1,330
工具、器具及び備品(純額)	257	253
土地	19,727	19,727
リース資産	44	—
減価償却累計額	△1	—
リース資産(純額)	42	—
建設仮勘定	186	107
有形固定資産合計	36,445	36,632
無形固定資産		
無形固定資産合計	52	54
投資その他の資産		
投資有価証券	11,798	11,780
長期貸付金	182	181
繰延税金資産	114	117
その他	1,163	1,163
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	13,239	13,223
固定資産合計	49,737	49,910
資産合計	68,220	68,592

(単位:百万円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成21年6月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,441	4,721
短期借入金	500	1,800
1年内返済予定の長期借入金	1,212	1,300
リース債務	8	—
未払費用	2,064	2,737
未払法人税等	771	1,197
未払消費税等	401	125
役員賞与引当金	17	67
その他	737	1,008
流動負債合計	12,153	12,959
固定負債		
長期借入金	1,844	2,026
リース債務	36	—
繰延税金負債	1,065	979
退職給付引当金	2,335	2,400
長期預り保証金	1,262	1,290
その他	1,482	1,506
固定負債合計	8,026	8,202
負債合計	20,180	21,162
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,083	7,083
資本剰余金	1,254	1,254
利益剰余金	41,063	40,344
自己株式	△1,617	△1,616
株主資本合計	47,783	47,065
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	296	110
繰延ヘッジ損益	13	△2
為替換算調整勘定	△847	△502
評価・換算差額等合計	△537	△394
少数株主持分	794	758
純資産合計	48,040	47,429
負債純資産合計	68,220	68,592

(2) 四半期連結損益計算書
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)
売上高	20,021	19,800
売上原価	15,354	15,175
売上総利益	4,666	4,624
販売費及び一般管理費		
配送費	715	659
役員賞与引当金繰入額	16	17
退職給付引当金繰入額	32	41
その他	1,951	1,954
販売費及び一般管理費合計	2,716	2,672
営業利益	1,950	1,951
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	33	33
持分法による投資利益	179	130
デリバティブ評価益	145	11
雑収入	55	45
営業外収益合計	415	222
営業外費用		
支払利息	24	14
雑損失	37	31
営業外費用合計	62	45
経常利益	2,303	2,128
特別損失		
たな卸資産評価損	33	—
特別損失合計	33	—
税金等調整前四半期純利益	2,270	2,128
法人税、住民税及び事業税	770	777
法人税等調整額	31	43
法人税等合計	801	821
少数株主利益	51	37
四半期純利益	1,417	1,269

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,270	2,128
減価償却費	521	554
持分法による投資損益(△は益)	△179	△130
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△84	△64
受取利息及び受取配当金	△35	△34
支払利息	24	14
売上債権の増減額(△は増加)	△276	△241
たな卸資産の増減額(△は増加)	361	789
仕入債務の増減額(△は減少)	998	1,702
未払消費税等の増減額(△は減少)	△219	275
その他	△358	△668
小計	3,022	4,325
利息及び配当金の受取額	35	34
利息の支払額	△16	△10
法人税等の支払額	△1,439	△1,191
法人税等の還付額	—	4
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,602	3,162
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△490	△662
有形固定資産の売却による収入	1	0
投資有価証券の取得による支出	△139	△8
投資有価証券の売却による収入	12	7
その他	0	△2
投資活動によるキャッシュ・フロー	△617	△664
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	1,100	2,270
短期借入金の返済による支出	△1,100	△3,570
コマーシャル・ペーパーの発行による収入	500	—
コマーシャル・ペーパーの償還による支出	△500	—
長期借入れによる収入	200	—
長期借入金の返済による支出	△397	△269
自己株式の取得による支出	△1	△1
自己株式の売却による収入	0	0
配当金の支払額	△551	△551
少数株主への配当金の支払額	△1	△1
その他	—	△2
財務活動によるキャッシュ・フロー	△751	△2,126
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	233	371
現金及び現金同等物の期首残高	1,876	3,127
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,109	3,498

- (4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

- (5) セグメント情報
〔事業の種類別セグメント情報〕

前第1四半期連結累計期間(自平成20年4月1日 至平成20年6月30日)

	砂糖事業 (百万円)	食品素材 事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	17,702	1,913	404	—	20,021	—	20,021
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	9	0	17	—	26	△26	—
計	17,711	1,913	422	—	20,047	△26	20,021
営業利益	2,156	58	250	—	2,465	△515	1,950

当第1四半期連結累計期間(自平成21年4月1日 至平成21年6月30日)

	砂糖事業 (百万円)	食品素材 事業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	その他事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全 社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高							
(1) 外部顧客に対する売上高	17,704	1,708	387	—	19,800	—	19,800
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	8	0	19	—	27	△27	—
計	17,712	1,708	406	—	19,827	△27	19,800
営業利益	2,112	104	250	—	2,467	△515	1,951

- (注) 1. 事業区分の方法

当社の事業区分の方法は製品系列によって行っております。

2. 各事業区分に属する主要な製品及び商品等

事業区分	主要製品及び商品等
砂糖事業	精製糖、液糖、砂糖二次製品
食品素材事業	機能性甘味料(「パラチノース」「パラチニット」)、さとうぎび抽出物、食品保存料、食品香料、食品用天然色素、寒天、カラギーナン
不動産事業	土地、店舗、倉庫、オフィスの賃貸業、倉庫業
その他事業	医薬品

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。